

第6回花畑周辺地域公共交通検討会（書面開催）

〔 議 事 〕

第6回花畑周辺地域公共交通検討会の議事内容を下記にまとめます。

各項目をご確認いただきましたら、別紙の書面確認書にご記入の上、ご提出くださいますようお願い申し上げます。

記

1 令和4年4月～6月の利用実績について

別紙1「令和4年4月～6月の利用実績について」をご確認ください。

2期目の前半である令和4年4月～6月の1日あたりの利用者数を見ると、1期目（令和3年10月～令和4年3月）と比べて、運賃払い利用者とシルバーパス利用者共に1～2割程度増加してきています。

4月下旬には回数券の販売を行いました。運賃払い利用者が大きく減る傾向は見られておらず、販売が利用促進につながった結果と考えられます。

2 利用者アンケートの結果について

別紙2-1「利用者アンケート結果について」をご覧ください。

令和4年6月22日から実施した利用者アンケートは、Web（インターネット）で70件、紙で146件、合計216件のご回答をいただきました。

収支率向上の方策（運行ダイヤ減便、シルバーパス利用者も運賃110円を支払う）を実施した後の利用頻度として、「運賃払い利用者」は、概ね8割の方が「これまでと変わらない」との回答となった一方、「シルバーパス利用者」は、概ね5割の方が『これまでより利用頻度が減る』もしくは『まったく利用しなくなる』と回答し、残りの5割の方は「これまでと変わらない」との回答でした。

別紙2-2「利用者アンケートでいただいた主な自由意見」をご覧ください。アンケートの自由意見欄にも多くの意見が寄せられました。

「1. 運賃に関して」は、『シルバーパス利用者から110円を徴収する』ということに対して、様々な意見がありましたが、全体を通して、収支率向上の方策に対する反対の声は少ない結果となりました。

その他、便数やダイヤ、運行ルートなどに対しても多くのご意見をいただきました。

3 社会実験のしくみ等について

参考資料1「社会実験のしくみ等について」をご覧ください。

アンケートで挙げられた自由意見の中には、今回の社会実験のしくみを誤解している方も多くいらっしゃいました。そのため、改めて検討会の皆様にも、お知らせいたします。

今回の社会実験は足立区と東武バスセントラル株式会社の共同事業として実施していますが、本格運行への移行は、東武バスセントラル株式会社が運行するにあたり、採算が取れるかどうかで判断するしくみではありません。車両購入費のほか、運行経費から運賃収入額を引いた額を足立区が負担して実施しており、本格運行へ移行したとしても、区が相当額を負担することには変わりはありません。

また、本格運行への移行へは、平均収支率24%を2期連続で達成する必要があり、3期目（令和4年10月～令和5年3月）が重要となります。

4 収支率向上の方策について

別紙3「収支率向上の方策について」をご覧ください。

前回の検討会（5月31日開催）で、事務局より報告させていただいた『利用実態に合わせたダイヤ改正（減便）』と『シルバーパス利用者から運賃110円を徴収する』という2つの収支率向上の方策を令和4年10月1日から実施したいと考えております。

なお、改定後の運行ダイヤについては、現在調整中のため、詳細が決まり次第、皆様にお知らせいたします。

令和4年4月以降、利用者が増えてきているものの、「3 方策実施後の収支率（見込）」のとおり、2つの方策を実施したとしても、目標の収支率24%を達成するには、利用者の大幅な増員が必要です。

以上